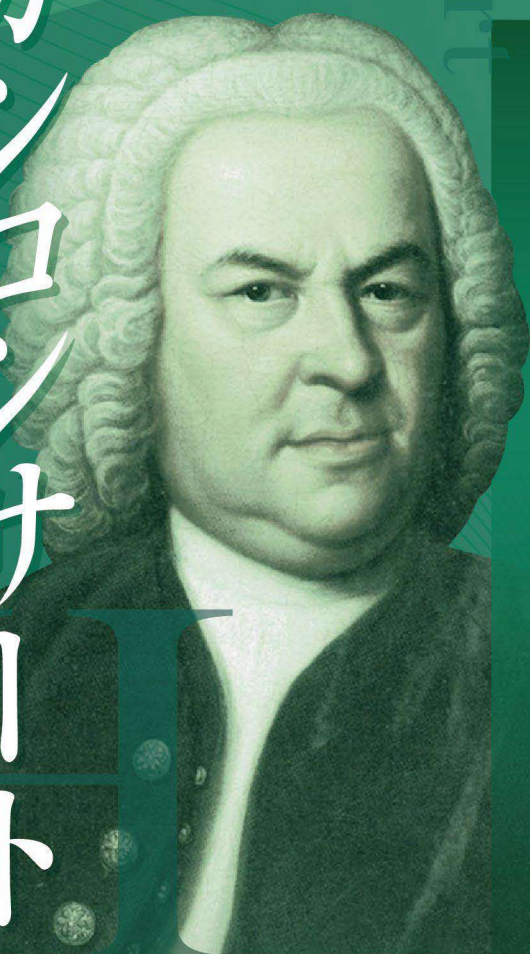


オールバッハ名曲選!!

真夏の オルガン コンサート 2024



〔オルガン〕 ウィリアム・フィールディング
(第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

北の国からの
贈り物

J.S. バッハ

オルガン協奏曲 イ短調 BWV593 より 第1楽章

G線上のアリア

いと高きところの神にのみ栄光あれ BWV663

おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け BWV622

トリオ《いと高きところの神にのみ栄光あれ》BWV664

フーガ《ジグ風》ト長調 BWV577

目覚めよと呼ぶ声あり BWV645

フーガ《小フーガ》ト短調 BWV578 ほか

※休憩なし。約60分間のコンサートです。

2024 **8/24** (土) 19:00 開演 (18:15開場)
全席指定 3,000円(税込)

プレイガイド

- e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード:56222]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード:257-707]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

真夏の

のオルガン

コンサート

2024

ザ・シンフォニーホール初登場!今注目の英国出身のオルガニスト、ウィリアム・フィールディングは1999年生まれの新鋭。第24代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任し、日本でもその実力に注目が集まっている。まだまだ灼熱の太陽が照りつける8月24日19時、フィールディングによる極上のサウンドを味わう「真夏のオルガンコンサート」が開催される。スイス・クーン社のオルガンを備えたザ・シンフォニーホールでは、これまで数々のオルガン奏者が名演の歴史を刻んだ。今回はオール・バッハ・プログラムで、名手A.イゾワール編による《G線上のアリア》、《小フーガ》ト短調 BWV578などよく知られた名作もとりあげる。夏のひととき、涼やかなホールでバッハの奥深い世界に浸りたい。

伊藤制子

オールバッハ名曲選!!

Program

オルガン協奏曲 イ短調 BWV593 より 第1楽章

G線上のアリア

いと高きところの神にのみ栄光あれ BWV663

おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け BWV622

トリオ 《いと高きところの神にのみ栄光あれ》 BWV664

フーガ《ジーク風》ト長調 BWV577

目覚めよと呼ぶ声あり BWV645

フーガ《小フーガ》ト短調 BWV578

カンタータ 第147番 より コラール「主よ、人の望みの喜びよ」

トリオ・ソナタ 第6番 BWV530 より 第1楽章 ヴィヴァーチェ

カンタータ 第29番 《神よ、われ汝に感謝す》 BWV29 より
シンフォニア

第24代札幌コンサートホール専属オルガニスト

「オルガン」 **ウィリアム・フィールディング** William Fielding, Organ

1999年イギリス生まれ。英国王立音楽大学で学んだ後、フランスでミシェル・ブヴァールにオルガンを師事。トゥールーズ地方音楽院を最優秀の成績で卒業。現在パリ国立高等音楽院で、オリヴィエ・ラトリー及びトマ・オスピタルに師事している。

イギリスのハンプトン・コート宮殿王室礼拝堂オルガニストを経て、2021年から、カヴァイエ=コル製オルガンを有するトゥールーズのサン・セルナン大聖堂聖歌隊のオルガニストを務めている。ヨーロッパ各国で演奏活動を行い、2023年9月、第24代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。



幻想的な世界が広がる ザ・シンフォニーホールのパイプオルガン

ザ・シンフォニーホールの舞台正面に厳かに佇むパイプオルガンは「本格的なコンサートホールには、ヨーロッパの伝統的なパイプオルガンが欠かせない」という強い想いのもと、スイスの名門オルガンビルダー「クーン社」によって生み出されました。透明感のある明瞭な音が特徴で、3,732本のパイプから成り、3段の手鍵盤と低いパイプを鳴らす足鍵盤、音色を調整する54のストップがあります。オルガニストの感性、音楽解釈によって、様々な音色が組み合わせられていきます。残響2秒というクラシック音楽にとって最適といわれるザ・シンフォニーホールの豊かな響きの中に広がるパイプオルガンの音色は、まるで巨大な楽器の中にいるかのような壮大で幻想的な世界へ誘ってくれます。

